



兵庫県隊友会

隊友会県本部だより

発行責任者：兵庫県隊友会長 小川 祥一

編集責任者：中 筋 功二

兵庫県隊友会事務局：宝塚市ふじが丘23-6

☎090-2708-3451



新年ご挨拶

兵庫県隊友会長

小川 祥一

公益社団法人兵庫県隊友会会員の皆様、陸海空自衛隊員の皆様、防衛省・自衛隊協力各諸団体会員の皆様、明けましておめでとうございます。希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの影響で大変な一年でありました。全世界で四千万人を超える方が感染し百万人を超える方が死亡（令和2年12月現在）したとみられています。

被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。米国などではワクチンの接種が開始され、我が国においても3月の年度末までには接種が開始されるとの報道がなされています。

これまでの間、身の危険を顧みず、感染拡大防止や患者の治療に献身的に活動されておられる医療関係者等の皆様に、衷心より感謝と敬意を表す次第であります。

その中でも防衛省・自衛隊の医療・衛生・後方支援に当たられている部隊や隊員は、ダイヤモンド・プリンセス号の乗客に対する衛生支援や、自衛隊中央病院における患者の治療をはじめとして、各種取り組みを行なっております。

昨年12月16日から陸上自衛隊中部方面隊の看護官等が大阪府内医療施設において衛生支援を行いました。日本国が国難にある時、これを救う最後の守護神として自衛隊が活動しているのを見るにつけ、我々隊友会会員は防衛省・自衛隊のOB・OGとして誇らしく感じます。

国難は新型コロナウイルスだけでは有りません。どさくさに紛れて尖閣諸島周辺海域や南シナ海において勢力拡大を図る大国もあります。この脅威に対し海上において、或いは、空域において、我が国の平和と独立を守っているのも、防衛省・自衛隊であります。

我々隊友会は、国民と自衛隊とのかけ橋として、相互の理解を深めるとともに、防衛意識の普及高揚に努め、国の防衛及び防災施策、慰霊顕彰事業並びに地域社会の健全な発展に貢献することにより、我が国の平和と安全に寄与し、併せて自衛隊退職者等の福祉を増進することを目的として活動しております。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響で会員の安全を確保するとともに、自衛隊他、関係諸団体に被害を及ぼさないことを考慮して最小限の活動に止まりました。令和3年度は新型コロナウイルスを克服し平常に戻ることを前提に、諸活動を行ってまいりたいと思います。状況が異なれば、その状況に応じて必要な活動を行なってまいりたいと思います。

本年は、新型コロナウイルスが撃滅されて、皆様にとって穏やかな一年になりますことを祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

兵庫県・阪神地域防災訓練を見学して

事務局長 小林 一吉

9月20日（日）令和2年度兵庫県・阪神地域防災訓練が実施されました。訓練は、「自然災害と感染症との『複合災害』への備えの訓練」に重点を置き、避難所設置・運営訓練や、孤立集落救出救助訓練や海上・空路物資搬送などの実働訓練が実施されました。

メイン会場となった尼崎市立中央中学校へ申込み見学兼ねて現職隊員の激励に行っていました。

その他の訓練会場は、

- ①三田市立母子小学校（孤立集落救出救助訓練）
- ②西宮市阪神南広域防災拠点（陸海空による物資搬送訓練、重傷者広域搬送訓練）
- ③三木市兵庫県広域防災センター（SCU 広域搬送拠点臨時医療施設）設置・運営訓練で、メイン会場にそれぞれの訓練状況が映像で紹介されていました。

現地確認した参加部隊は、中部方面総監部・中部方面衛生隊・阪神病院・第3特科隊・阪神基地隊・兵庫地方協力本部でした。



問診をする衛生隊員



救助指示を待つ3特隊



訓練後挨拶する知事：中央

会場大型スクリーンには第3飛行隊の物資搬送（三田市）が映し出されておりました。

実働は控えめに見ても我が自衛隊の動きには無駄なく・手際よく・スピーディに効率よく行動しておりました。

今回、会（支部）への参加要請はございませんでした。また訓練の設定としても出番は無かったとは思いますが、何か現職を支援できるような場面はないかと模索してみました。たとえば、部隊の野外炊事コーナーは手薄でPTA？自治会？が誘導・配布をしておりましたが、当会も当日参加で支援が可能では？また地本ブースでは各種自衛隊の活動パネルを展示していましたが、OB・OGがそこに居れば来場者へ体験談などし、PRの一役を担えたのではと思いました。

コロナ禍において各種行事も開催できず部隊・隊員との距離感が離れていく感じの昨今、国民と自衛隊との懸け橋のつなぎ目が緩まない為にも今後の会の運営を考えさせられた見学となりました。追伸：隊員の動きが速く、素人カメラマンでは良い写真が撮れませんでした。

栄えある受章おめでとうございます

第34回危険業務従事者叙勲受章者

令和2年4月29日付（敬称略順不同）

瑞宝双光章

植村 充徳（宝塚市）	牛本 宗雄（姫路市）
奥田 堅策（新温泉町）	川嶋 昌一（加西市）
中野 則正（宝塚市）	鳴瀬 茂樹（加古川市）
西原 博文（宝塚市）	西峰 昌秀（伊丹市）
藤森 昭男（川西市）	宮川 正美（伊丹市）

瑞宝単光章

志方 一也（小野市）	福田 政利（猪名川町）
松村 博（丹波篠山市）	

第35回危険業務従事者叙勲受章者

令和2年11月3日付（敬称略順不同）

瑞宝双光章

浦崎 延雄（伊丹市）	黒沢 武史（伊丹市）
野村 光洋（宝塚市）	山本 賀久（明石市）
吉岡 国雄（姫路市）	

瑞宝単光章

片岡 章彦（姫路市）	永見 弘一（伊丹市）
深井 秀和（川西市）	三谷 隆徳（姫路市）

令和3年度定時総会について

6月13日（日）「県民会館」に於きまして、計画を立てています。飲食を伴う懇親会は実施いたしません。（状況の変化で、さらに変更もあり得ます）

内容

- ①定時総会
- ②表彰状の伝達及び授与
- ③防衛講話（予定）

県本部主要活動状況

(令和2年1月～令和2年12月)

- 1月11日 防衛関係諸団体新年互礼会
(伊丹・宝塚・川西地域支部)
- 1月12日 中部方面隊音楽まつり (西宮市)
- 1月26日 阪神・淡路大震災25年祈念特別演奏会
(神戸市)
- 2月11日 第3師団第50回定期演奏会 (伊丹市)
- 2月14日 潜水艦「おうりゅう」壮行会
(神戸市)
- 2月15日 支部長等合同会議及び第3回理事役会
(県民会館)
- 3月上旬 入隊・入校激励会 (県内各地)
- 3月中旬 練習艦隊入港歓迎行事 (中止)
- 4月6日 伊丹駐屯地創立記念行事 (中止)
- 5月2日 姫路護国神社春季例大祭支援
(姫路支部)
- 5月17日 第3師団・千僧駐屯地創立記念行事
(中止)
- 5月19日 青野原駐屯地創立記念行事 (中止)
- 6月1日 阪神基地隊開隊記念行事 (中止)
- 6月1日 姫路駐屯地殉職者追悼式
- 6月7日 防衛懇話会 (楠公会館)
- 6月13日 第1回理事役会 (文書配布意見聴取)
- 6月23日 令和2年度(第60回)定時総会
(文書配布による議決権代理行使にて開催)
県隊友会創立60周年記念行事
(中止)
- 6月25日 隊友会全国定時総会 (縮小開催)
- 7月25日 青野ヶ原演習場殉職隊員慰霊
(東播支部)
- 9月27日 近畿ブロック研修会 (中止)
- 10月4日 中部方面隊創立記念行事
- 10月6日 鵜野平和公園祈念行事 (東播支部)
- 10月17日 隊友会関西防衛セミナー
(京都担当延期)
- 10月24日 第3師団殉職隊員追悼式
- 11月1日 姫路駐屯地創立記念行事 (中止)
- 11月2日 護国神社秋季例大祭支援 (姫路支部)
- 11月20日 兵庫地方協力本部創立記念行事
- 12月8日 小野ハーフマラソン支援 (中止)
- 12月6日 第2回理事役会 (文書配布意見聴取)
- 12月6日 姫路城清掃支援 (姫路支部)

隊友会団体保険について

隊友会取扱いの「団体生命保険」は、正会員及びその配偶者でなければ加入できません。

今年度(10月)本部が団体生命保険加入者について、各都道府県地域隊友会からの報告に基づき在籍確認をしたところ、全国で約300名が会員名簿に無いことが判明しました。退会手続きの際は、くれぐれもご注意下さい。また、保険加入の条件を知って、再入会されるという事例もありました。

原因

団体生命保険加入者が、隊友会正会員でなければ加入できないことを本人が認識せずに退会を申し出て、県(支部)隊友会事務局も保険加入の有無を確認しないまま退会の手続きをしたことが考えられる。

隊友会取扱いの保険等

「団体生命保険(傷害特約付き)」
「介護保障付き終身保険」
「団体年金保険」
「団体総合生活保険(傷害・がん・医療)」
隊友会集団取扱「アフラックがん保険」
隊友会集団取扱「アフラック医療保険」
「三大疾病保障保険」
「新・医療互助制度(医療・ゴルファー・自転車)」

予備自衛官等福祉支援制度

この制度は、予備自衛官の方々から相互に連帯感を持てる施策について要望があり、陸上幕僚監部で検討して隊友会に事業を委託し、平成元年12月に「予備自衛官等互助制度」として発足しました。

平成10年3月26日には即応予備自衛官制度の導入に伴い、即応予備自衛官を、平成14年9月1日には予備自衛官補の制度の導入に伴い、予備自衛官補もそれぞれ加入できる制度としております。

支部便り

隊友会と市民とのかけ橋として

神戸東支部 特別会員 新井 みき



自衛官募集相談員の「新井 みき」と申します。兵庫県隊友会の皆様には、平素より大変お世話になっております。

隊友会とのご縁は、平成24年に神戸市灘区と中央区にまたがる臨港線跡地で催されました「臨港線ふれあい祭り(2万5千人来場)」でした。兵庫地本広報ブースの参加を、会員の方よりお願いされたことに始まります。自衛隊を尊敬する者として、兵庫地本のお膝もとでもある地域のイベント参加が実現いたしましたことは、誠に有意義だったと存じます。イベント会場は、明治40年に開業した東海道本線貨物支線(神戸臨港線)跡地が遊歩道として整備されたもので、市民の憩いの場となっています。

本業は骨董屋ですが、神戸大学の灘チャレンジシップや都賀川を守る会等の委員を務めながら、ボランティア活動と学生ボランティアの育成を通じて、灘区地域活性化のために勤しんでいる日々でございます。

甥が自衛官だったことや、震災前、お店の前に王子公園募集案内所があったこともあり、自衛隊はとても身近な存在でした。震災時、被災したことで、JR灘駅北側にテント村を作り、地域の方々と必死で運営をしたこともございました。その折には、災害派遣で来られている自衛官の方々には、言葉で言い表せない心のこもったご支援を頂きました。

国防・国際平和協力活動だけではなく、自然災害の多い今日、災害派遣で自衛隊は私ども国

民にとって、心のより所であり誇り高き存在です。ロイヤル・プリンセス号に始まった、コロナ禍における災害派遣や豚コレラ・抗原性鳥インフルエンザでの災害派遣等々。

そのような自衛隊のOB組織であります隊友会の特別会員として、会員に加えて頂きましたことは、私にとってはとても光栄なことでした。

国民と自衛隊とのかけ橋を隊友会の目的と享受しつつ、隊友会と市民とのかけ橋となれますよう努めてまいりたいと存じます。

さつまいも収穫祭

東播支部事務局長 細貝 寛徳



東播支部(支部長:石田真一)は10月24日(土)朝9時から兵庫県加東市河高の借用畑において、今年唯一の行事となる「さつまいもの収穫祭」を行なった。

5月17日(日)にさつまいもの苗を450本植付けして、その後畑近くに居住する隊友会員を中心に植え付け後の水やり、7月25日(土)の慰霊行事終了後にはツル返し等を行い、大きな芋に育つよう愛情をこめたお世話により、無事収穫祭を迎えることが出来ました。

今年はコロナ禍の影響もあり、行事を行うことが出来るのか検討を重ね、青野原駐屯地の隊員やご家族が自粛生活を余儀なくされている環境の中で少しでも楽しんでいただけることにならないかとの会長のお考えもあり、収穫祭を行う決心を致しました。

当日は好天に恵まれ、隊友会員20名及び現職隊員・家族35世帯123名の参加があり、総員143名で盛大に収穫祭を行いました。特に、小学生以下の子供達の参加が多く、小さいスコップ等で一生懸命に芋を掘り歓声を上げる姿が微笑ましく会員の労が報われるとともに、楽しい

時間を過ごすことが出来ました。

年々参加者も増加している状況です。来年もさつまいもの収穫祭がより盛大に行えるよう支部長以下会員一同が気持ちを新たに、隊友会員と現職隊員・家族との交流の場を大切にしていきます。



物故者 (令和2年度拝承)

「謹んでご冥福をお祈りいたします」

氏名	所属	享年	他界日
絹田 建男	伊丹	85	令和元年 5月 9日
州崎 文良	伊丹	79	令和元年 5月20日
堀越 武敏	阪神	79	令和元年 9月 1日
池田 日出男	伊丹	93	令和元年11月11日
後藤 由郎	阪神	99	令和元年 1月24日
瀧 亥之介	姫路	85	令和2年3月5日
永井 進	伊丹	91	令和2年4月3日
川嶋 昌一	東播	64	令和2年 4月30日
前田 優	姫路	88	令和2年10月14日
村井 健次	伊丹	94	令和2年10月27日
井藤 五郎	伊丹	76	令和2年11月20日
真鍋 誠	東播	59	令和2年11月20日
京塚 利春	伊丹	83	令和2年12月21日

新型コロナウイルス感染拡大を受けた災害派遣における活動実績

教育支援	自治体職員等に対する感染防止教育 33都道府県 延べ被教育者数：約2,300名
生活支援	宿泊施設における患者への食事配膳等 8都道県 延べ生活支援対象者数：約760名
輸送支援	病院から宿泊施設間の患者輸送 6県 延べ輸送支援対象者数：約90名
医療支援・ 検体採取支援	医療支援、PCR検査のための検体採取 5道県
天幕展張・ 維持管理支援	野外でのPCR検査に必要な天幕の展張、 維持管理 1県
患者空輸	離島で発生した陽性患者の航空機による 空輸 5道県 延べ輸送支援対象者数：約80名
資器材提供	自衛隊が保有するCT診断車による診断 1県

防衛省自衛隊HPから引用

主要行事案内

(令和3年1月～令和3年3月)

- 1月24日 中部方面隊音楽まつり (中止)
- 2月11日 建国祈念の日を祝う会支援 (姫路支部)
- 2月上旬 潜水艦「とうりゅう」壮行会 (中止)
- 2月21日 支部長等合同会議及び第3回理事役会
(文書配布意見聴取)
- 2月22日 中部方面音楽隊創隊60周年記念スペシャル
コンサート (シンフォニー・ホール)
- 3月上旬 第36普通科連隊創立記念行事
- 3月上旬 入隊・入校激励会 (県内各地)
- 3月13日 第3師団第51回定期演奏会
(東リ伊丹ホール)
- 3月中旬 練習艦隊入港歓迎行事 (中止)



人事往来 (発令順)

【主要幹部】

第3特科隊長 兼 姫路駐屯地司令

離任 1等陸佐 堀川 佳紀 (教育訓練研究本部)
着任 1等陸佐 高倉 敬 (第4師団司令部第3部長)
2年 3月16日付

第3師団副師団長 兼 千僧駐屯地司令

離任 陸将補 関口 勝則 (航空学校長兼
明野駐屯地司令)
着任 陸将補 田中 仁朗 (統幕防衛計画部
計画課長)
2年 3月18日付

阪神基地隊司令

離任 1等海佐 寺田 博之 (横須賀教育隊司令)
着任 1等海佐 佐藤 広憲 (第1潜水隊群司令)
2年 7月31日付

第3師団長

離任 陸将 梶原 直樹 (防衛大学校幹事)
着任 陸将 山根 寿一 (第13旅団長)
2年 8月25日付

中部方面總監部幕僚長 兼 伊丹駐屯地司令

離任 陸将補 木口 雄司 (防衛研究所副所長)
着任 陸将補 中野 義久 (防衛研究所副所長)
2年 12月20日付

第8高射特科群長 兼 青野原駐屯地司令

離任 1等陸佐 押川 誠 (統幕運用部運用第2課
国際協力室長)
着任 1等陸佐 久守 直紀 (高等工科大学
教育部長)
2年 12月23日付



情報提供のお願い

自衛官募集中

自衛官候補生・曹候補生の…

入隊年齢の幅が広がりました！

18歳～33歳未満

※入隊月の3ヵ月後に33歳未満

自衛隊に興味があるけど、
年齢制限であきらめていた人
就職してるけど、再
チャレンジしたい人

神戸港に海上ロープウェイ計画

神戸市が神戸港一帯の回遊性を高めるため、ウォーターフロント再開発事業で、国内最長を見込む海上ロープウェイの整備を検討していることが同市への取材で分かった。三宮の南にある新港突堤西地区と神戸メリケンパークのある中突堤、神戸ハーバーランドを結ぶルートを構想している。実現すれば、海上から見下ろす臨海部に加え、市街地と背後に連なる六甲山系も眺望できる観光資源になりそうだ。

神戸市は、ロープウェイは民設民営とし、港内にある市有地3カ所で乗降駅の建設を検討。



最長であれば約1.2キロとなる。ただ、海上を渡る支柱の設置は、船舶航路との兼ね合いや景観への配慮、風など気象の観点から実現可能性を慎重に見極める必要がある。

神戸新聞NEXT
R3.1.11から引用

編集後記

兵庫県にも再度、特措法に基づく「緊急事態宣言」が発令されました。昨年はコロナに始まりコロナで終わった一年でしたが、会員の中にもコロナ病棟で必死になって「生命を守るため」戦って下さっている医療従事者がいることを知りました。現職自衛官も災害派遣が多岐に渡り、大変活躍された年となりました。これまでに無い困難と立ち向かっている全ての人々に敬意を表します。早く終息を願うばかりです。

動物園では新年の準備として、「干支の引継ぎ式」のイベントを行います。昨年王子動物園では、閉園日にネズミの仲間「モルモット」と、見た目はシカによく似た牛の仲間「シタツंगा」(アフリカ原産)との間で滞りなく行われました。同イベントの様子は当園の動画配信をご覧ください。

今年も行事が開催できない日々が続きますが、皆様におかれましては、くれぐれもご自愛下さい。

事務局 中筋